



現場で使える！
物流総合ソリューション

2024年問題からその先へ！

荷主・物流事業者間の調和／協力しあう新時代の物流へ

配送
計画

拠点
分析

動態
管理





物流2024年問題のその先も 安定した物流サービスを提供

配送
計画

拠点
分析

動態
管理

“モノ”を届ける「物流」は経済の血液とも言われるほど重要な役割を担っています。

にもかかわらず、労働人口の減少、高齢化、長時間労働の常態化など、多くの問題を抱え、さらに、それらを是正するための「働き方改革関連法」が制定され、2024年4月からは物流2024年問題の真っ只中にあります。

『労働環境改善』と『輸送力の維持』、さらには2024年2月に閣議決定された物効法※改正に伴い『想定される課題・対策』をパスコが推進している物流サービスと合わせて、活用方法をご紹介します。

荷主・物流事業者間の調和、協力しあう新時代の物流へ、皆さまと共に挑戦します。

※「物資の流通の効率化に関する法律」の略称



物流業界のあらゆる事業者様の課題解決を総合的に支援します！

荷主企業様



- CO₂排出の削減目標
- ものが運べない、届かない
- 運送会社と協力
- 配送方法の見直し
- 自社配送網の見える化
- 配送のボトルネックの把握

3PL事業者様



- サービスレベルの維持が困難
- 庸車の確保
- 拠点配置の見直し
- 配送計画の見える化

運送企業様



- ドライバー不足
- 労務管理
- 配送計画の見える化
- 稼働時間を一元管理

配送計画

配車マンのノウハウをシステム化
物流コミュニティの構築
荷主企業と物流の協調

拠点分析

総当たりトンキロ計算
データで見つける理想の拠点

動態管理

ルートナビゲーション
荷主と現場の車格条件交渉



配送計画

日々の業務から、事業継続に必要な配車ノウハウの資産化まで トータルサポートするベストパートナー

1箇所の拠点から複数の配送先を担当する地場配送（ラストワンマイル）では、1台の車両がどれだけ多くの配送先を回れるか？が業務効率化の鍵となっています。
パスコは配車マンの効率検討と育成業務をシステムによって支援します。

プログラム配車 ベテラン配車マンのノウハウをシステム化

■ 配車条件を遵守した 最適ルートを選定

日々の荷物の内容や量が変化する中で「多岐にわたる配送条件」を遵守しながら、「積載率向上」や「労働時間遵守」を実現する最適ルートを選定します。



配車マンのノウハウをシステム化
物流コミュニティの構築
荷主企業と物流の協調

こんな悩みを抱える方に

- 事業継続に必要な配車ノウハウの継承に悩んでいる
- 部署や企業の枠を超えた協調がなかなか進まない
- 思いがけずトラックGメンからの改善要請を受けた

■ 複雑な配車業務を平準化

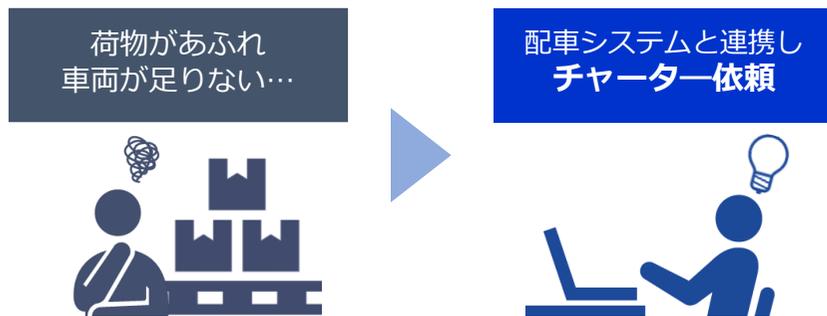
配車マンが頭の中でおこなっていた「段階的な配車」をプログラム配車で再現し平準化。
経験の浅い配車マンや新設の拠点でも変わらない配車品質を実現できます。



求貨求車 物流コミュニティの構築

■ 車両不足を他社との連携で解決

配車システムから他社の求車情報と直接連携し、自社車両やいつもの協力会社への依頼では耐えられない状況にも対応できます。



■ 他の荷主と配送ルートを共有

荷主同士の配送情報を取り纏めて相性の良い荷主を繋ぎます。荷主同士の配送ルートのマッチングをおこない、足りない部分を相互に補って積載率を向上させます。

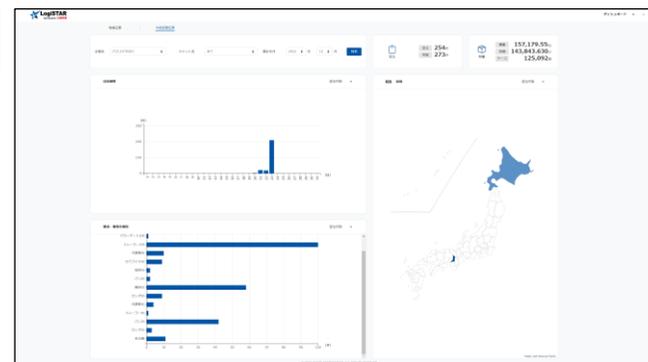


物流の透明性 荷主企業と物流の協調

■ 2024年問題対策から「物効法」対策へ

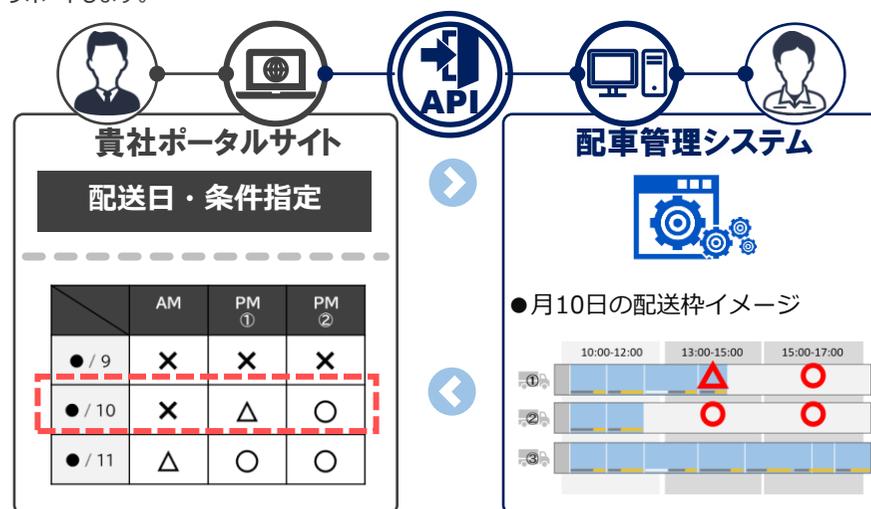
今年2月「流通業務総合効率化法」の改正法律案が閣議決定。特定荷主は「物流統括管理者の選任」と「中長期計画の作成や定期報告」が義務化されると予想されています。担当者は実態を把握（物量の見える化）し、改善が求められます。

物量の見える化



■ 荷主企業の物流DX化

荷主企業が主体となって配車業務に取り組むことで従来の配送依頼を運用面から変革をサポートします。



拠点分析

定量的な情報をもとに物流拠点の最適化を実施。
この夏拠点分析リニューアル！

拠点の維持にはコストがかかるため、新しい拠点の候補地選びは失敗できません。
パスコの拠点分析は、拠点（または候補地）と配送先の全ての組み合わせをトンキロ計算し、拠点統廃合や候補地選定の根拠となる分析結果を提示します。
距離・時間・トンキロを測定し見える化し、新しい拠点候補地選びだけでなく、既存の拠点の統廃合の根拠にもなります。

拠点最適配置 データで見つける理想の拠点

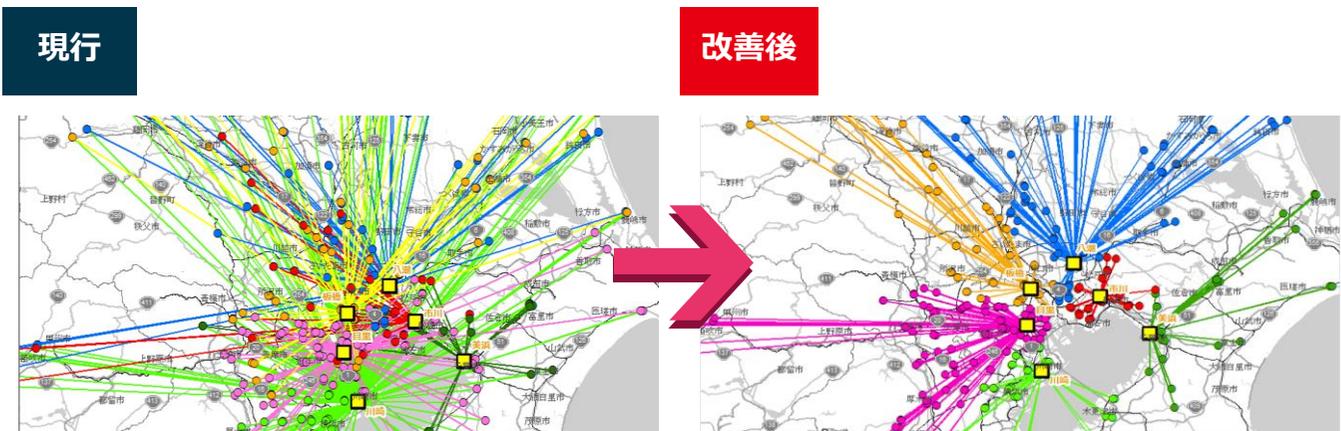
■ 総当たりのトンキロ計算で、新設拠点や統廃合の根拠に

すべての新拠点候補地から配送先の組み合わせをトンキロ計算し、最も配送効率のよい（トンキロが低い）最適な候補地を選定します。
改善に向けて、荷物の取り扱い量や位置関係をスピーディーに見える化し、現状の配送網を評価できます。

総当たりトンキロ計算 データで見つける理想の拠点

こんな悩みを抱える方に

- 大きな設備投資にも拘らず事前の試算ができない
- どの拠点からどの配送先へ届けているのか、俯瞰した物流網の把握ができていない。



動態管理

配送の「効率」と「確実性」のせめぎ合い

配送効率を上げたい配車マンや物流拠点・荷主企業にとって、配送は可能な限り大きな車両でおこないたい。しかし、配送現場からは逆の声が上がり、現場周辺が細街路となると「確実に届くように」小さい車格を指定されることが多くなっています。

そこで、動態管理システムで予定ルートを目視確認し指定された車格よりも大きい車格で通れることを事前に判断することで双方の想いを叶えることができます。

ビジネスナビタイム 荷主と現場の車格条件交渉

■“大事をとって2tショート”などの 車両指定の交渉材料に

配送計画を立て、動態管理システムに連携すると、道路幅員を色で確認可能。

現場付近の細街路など、2tショートトラック指定が必要なのか、4tトラックでも通行可能か判断でき、必要な「車格条件」が分かります。

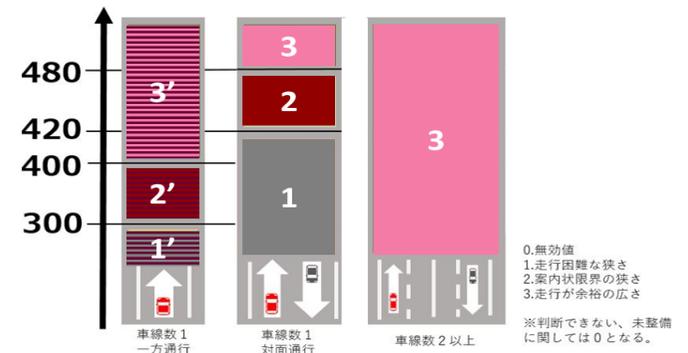
	車格 (車幅:mm)	4t (2300)	2t (2200)	2tショート (1900)
対面通行	灰色	×	×	○
	茶色	×	○	○
	桃色	○	○	○
一方通行	灰色	×	×	○
	茶色	○	○	○
	桃色	○	○	○

ルートナビゲーション 荷主と現場の車格条件交渉

こんな悩みを抱える方に

- 配送先周辺が細街路だが、道路幅員が分らず利用できる車格が不明
- 配送現場からは「確実に届けられるように」小さい車格指定が頻発
- 配送効率を考えて大きい車格で配送したいが、現場からは「運べなかったらどうする？」と言われる

道路幅員等級区分



多様な業務形態でご利用いただいております

幹線輸送・店舗配送・EC／宅配（ラストワンマイル）・食品・建材／建機・医薬品
家電量販店・オフィス家具・精密機械（複合機・PC）・スーパー・化学品 など

拠点分析
45社

配車計画
700ライセンス

動態管理
車両10,000台



物流会社

実配車、営業提案で利用



製紙卸業

実配車、運賃計算で利用



化学製品メーカー

工場配送で利用



ハウスメーカー

建屋・現場配送で利用



住宅用建材メーカー

建材全般・足場の配送で利用
(建設現場配送でも利用)



インクメーカー

工場・印刷会社への配送で利用



生協宅配

宅配コース自動作成、
大規模なコース再編成で利用



食品・チルド配送

実配車、宅配コース自動作成、
大規模なコース再編成で利用

※パスコのロゴは、株式会社パスコの登録商標です。
※本文に記載のその他の会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
※本冊子は予告無く変更する場合がございます。詳しくは問い合わせ先までご連絡ください。

株式会社パスコ

本社 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-7-1 <https://www.pasco.co.jp/>

問い合わせ先

pasco_sales@pasco.co.jp

